

新「共通特論Ⅱ」：臨床腫瘍学各論
個別化医療における腫瘍の画像診断学

講義日：2023年10月28日（土）

講師：野上 宗伸

（神戸大学医学部附属病院 放射線診断・IVR科 特命准教授・放射線部
副部長、福井大学高エネルギー医学研究センター 准教授）

要旨

腫瘍の画像診断において、核医学検査は機能画像の側面が強い。個別化医療においては腫瘍の多様性に対応した診断・治療を要するが、核医学検査はその一助となる。核医学検査には従来から行われている単光子放出核種によるもの（SPECT など）と、陽電子放出核種によるもの（PET）があり、一般に後者の方が診断に優れているが、本法での利用はFDGにほぼ限定される。

研究段階のものも含め、各種トレーサー（分子プローブ）による多彩な機能画像（分子イメージング）が可能となり、個別化医療の一助となる事が期待されている。診断用トレーサーで分布を見、治療用トレーサーで治療を行うtheranosticsの手法が期待されている。本講義では特に乳癌、神経内分泌腫瘍の核医学を用いたイメージングと治療について概説する。